

現地機関見直しの観点（案）

- | | | |
|--|---|------------------|
| ○ 簡素で効率的（＝ 最小限の経費） | } | （＝ 機能を発揮し使命を果たす） |
| ○ 県民・市町村が利用しやすい、
職員が十分仕事できる（連携、働きやすさ） | | |



1 県民の方々の利便性に配慮したうえで、できるだけ広い管轄区域又は業務の集約化

目指すもの

- ◇スリムな組織
- ◇人員体制の集約化による専門性の確保

考慮すべき事項

- ◇利用者の利便性、業務のしやすさ
 - ・ サービスを受ける方や現場の数・分布状況、庁舎からの時間距離
 - ・ 緊急的対応の有無、頻度
 - ・ 業務の種別（出張対応、来庁対応、電話相談等）
 - ・ 業務量（業務量の経年変化、職員数等）

2 指揮命令系統が単純で、組織間の連携が取りやすい組織形態

目指すもの

- ◇意思決定の速さ、組織の屋上屋の排除
- ◇連携しやすく、効果的な施策運営ができる組織の体制、くくり方

考慮すべき事項

- ◇県民の方々がわかりやすい組織、名称
- ◇業務の共同化も含めた市町村との連携が取りやすい組織

3 効率的な職員配置

目指すもの

- ◇スリムな組織
- ◇組織としてのまとめり、専門性・機動性の確保

考慮すべき事項

- ◇業務内容
- ◇業務量